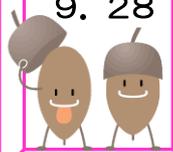




8.9月号

H30

9.28



発行者
中西利彦

実りある2学期

猛暑の夏休みが終わり、先月27日(月)から2学期が

始まり、1カ月がたちました。夏休み中には、数々の大会や発表会で各部が活躍をし、たくさんのお褒めをもらってきました。私はあちこちで君たちの「がんばる姿」「真剣に取り組んでいる姿」を見るのができました。詳細は裏面を参照してください。

今年は、災害の多い年です。大阪北部地震、西日本集中豪雨、命にかかわる猛暑、いくつもの台風、その中でも9月4日(火)の台風21号は、これでもかというくらい猛威を直に感じました。そして、北海道南西部を震源とした強い地震。自然界の猛威を思い知らされることになりました。こんな中で、これからも私たちは生活をしてかなければなりません。普段からの予防策を講じなければなりません。特に、中学生の皆さんには、始業式でも伝えたいように、自分の意見を考え、伝える力。そして、人の意見を聞き、判断する力が必要です。2学期が始まり、まずは、将来の進路を考え、今、何をしなければならぬのかを考えながら、実践していく時期が来ました。特に、3年生は卒業後の進路を決定する大事な時期です。



猛暑の夏休みが終わり、先月27日(月)から2学期が始まり、1カ月がたちました。夏休み中には、数々の大会や発表会で各部が活躍をし、たくさんのお褒めをもらってきました。私はあちこちで君たちの「がんばる姿」「真剣に取り組んでいる姿」を見るのができました。詳細は裏面を参照してください。



文化祭

、一人一人笑顔の花を咲かせよう

9月28日(金)

時間を味方にして、本気で真剣に取り組んでください。そして、明るい未来を勝ち取ってください。充実した2学期を送るよう心掛けてください。

It's 笑 time

2学期が始まり、文化祭本番に向けて各学年で準備が着々と進んだと思います。当日1年生は、クラス合唱と全体合唱の舞台発表と「平成の住」という題のちぎり絵の作成。2・3年生は、テーマを決めて各クラスで演劇を発表しました。さらに、「私の意見」発表、英語暗唱、「カナダ派遣研修報告」などの発表もありました。また、取り組みを通して皆さんのがんばる姿をしっかりと見せてもらいたいと思います。本日の詳細は、10月号でお知らせします。



親子給食始まる

2学期に入り、粉浜小学校で調理された給食が、本校の給食として食べられるようになりました。テリバーリ給食では、



2学期に入り、粉浜小学校で調理された給食が、本校の給食として食べられるようになりました。テリバーリ給食では、



土曜授業

学校選択制保護者説明会

ご飯は温かかったのですが、主菜(おかず)などは冷蔵され、冷たいままでした。給食になって、調理したばかりのものを、温かいものは温かく食べることができるようになりました。また、食前には、食材などの解説があり、栄養面で意識を持って食べることが出来ます。



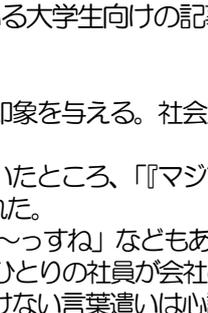
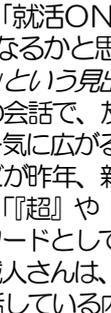
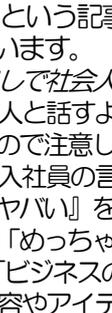
校長参観

中学校生活は、人生の基礎、基本を学ぶところ。生徒の皆さんが学校でもっとも長い時間過ごすのは授業です。その授業を15日(土)、保護者の皆さんに参観していただきました。同日、選択制の学校説明会を多目的室で行いました。また、12日から皆さんの授業の様子を参観しています。概ね、熱心に授業を受けていました。積極的に発言・発表する生徒や顔をしっかりと上げて先生の言葉を聞き逃さないとする姿勢の人もいました。中には、集中力を欠き、先生の指示を聞いていない人もいました。授業を受けるチャンスは全員均等です。受ける姿勢で差が出てきています。後期時間割が始まったら、再度参観に行きますので、さらに熱心に授業に参加する姿勢を見せてください。



部活成績

夏休み中にあった大会や発表会の結果を報告します。日頃の練習の成果が形として現れた結果です。しかし、がんばったけれど成果に表れなかった部活や選手もいることでしょうか。今回悔しい思いをした人も、今回の結果を省みて次回につないでください。期待しています！

部活動名	大会	成績	名前
吹奏楽部	大阪府吹奏楽コンクール 中地区大会	銀賞	
卓球部	<<夏季7B大会>> ・団体の部—学校団体 3年団体 2年団体 ・個人の部	第3位 第3位 優勝 第3位 準優勝 第3位	上田君（3年男子） 中村君（2年男子） 大谷君（2年男子）
男子ソフトボール部	大阪中学校優勝ソフトボール大会	第3位	
女子 ハンドボール部	大阪中学校選手権大会	第3位	
剣道部	<<秋季7B大会>> ・男子団体 ・個人	第3位 準優勝	脇阪君（2年）
陸上	<<7B大会>> 走高跳（1m25） 走幅跳（4m45）	3年女子	東さん（3年女子） 寺家さん（3年女子）
水泳	・大阪中学生学年別水泳競技大会 1年男子100m自由形	第4位	松山君（1年）

編集後記

夏休みが終わり、1カ月以上が経ちます。夏休み中には日ごろ経験のできないことを体験できた人々もいたことでしょうか。1年生宮本さんは、住之江区の海外派遣研修でカナダに行き、語学研修をしてきました。文化祭でも発表をしてくれました。その他でも授業がない夏休みだからこそできた経験があると思います。しかし、直接体験だけではなく、読書をして間接体験を楽しむという方法もあります。火曜日は図書館デーです。図書館を利用して間接体験を楽しんでみてはどうですか？

社会人のマナー：「この企画、私的には超ヤバいと思います！」

9月4日の読売新聞に「就活ON」という記事がありました。就活をしている大学生向けの記事ですが、皆さんにも参考になるかと思えます。

●「学生言葉 極力控えて」という見出しで社会人のマナーというテーマです。

◇職場の上司や取引先との会話で、友人と話すような「学生言葉」が出ると軽い印象を与える。社会人になると接する年代の幅が一気に広がるので注意したい。

就職情報会社のマイナビが昨年、新入社員の言葉遣いで先輩が驚いた例を聞いたところ、「『マジで』という言葉が平気で使う」「『超』や『ヤバい』を多用する」などの声が寄せられた。

新人が使いがちなNGワードとして「めっちゃ」「私的には」「ぶっちゃけ」「～っすね」などもある。

マイナビ編集長の高橋誠人さんは、「ビジネスの交渉や営業の場面では、一人ひとりの社員が会社の看板を背負うことになる。話している内容やアイデアが良くても、学生気分が抜けない言葉遣いは心証を悪くしてしまう」と指摘する。

意味が曖昧な言葉も注意が必要だ。例えば、「やばい」は、若い世代は「素晴らしい」といった肯定的な意味で使うが、40～50歳代以上の世代は「危ない」と否定的にとらえるのが一般的だ。「普通においしい」も、若者は「すごくおいしい」という意味で使い、世代間ギャップがある。

学生言葉から脱するにはどうしたらいいのか。「自分の言葉遣いの癖を友人や親にチェックしてもらいたい」と高橋さんはアドバイスする。大学のキャリアセンターの面接練習で指摘してもらおうのも手だ。

相手に対して丁寧でへりくだった印象を与えるためには、「クッション言葉」を覚えておくのが便利だ。相手に依頼する時は、冒頭に「恐れ入りますが」「ご面倒をおかけしますが」と入れ、断るときは「残念ですが」「せっかくですが」と添える。一呼吸置くことで余裕が生まれ、緊張したり、焦ったりして、学生言葉がつい出てしまうことも少なくなる。

ただ、高橋さんは「言葉遣いを気にするあまり、思いや熱意が伝わらないのは、もったいない。まずは話の中身を磨くことが大切だということも忘れないでほしい」と指摘している。

●「～っすね」を付け加えて、略式の敬語だと思ってしゃべっているおとなも子どもも見かけますが、間違った使い方であると認識して、正しく言葉を選びましょう。

